



射水市立大門小学校 学校だより



三輪の結

大門っ子

第18号

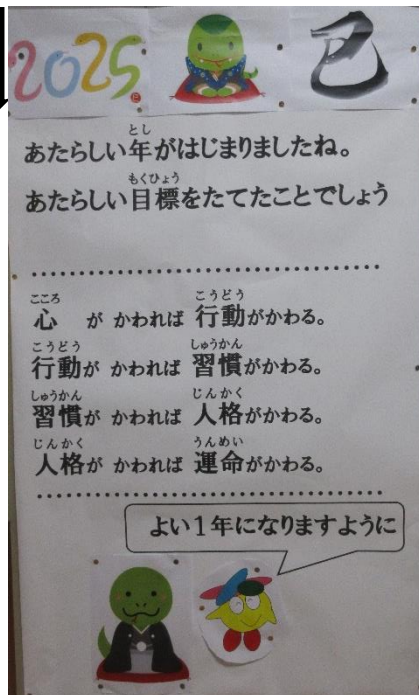
令和7年1月15日

2025年 備えあれば憂い無し!

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は、学校運営に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も「本気でチャレンジ」を合言葉に、全教職員が一丸となって、子供たちの指導にあたりたいと思います。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



希望に満ちた2025年がスタートしました。

能登半島地震から一年、無事に年明けを迎えることができ、少し安堵しております。ただ、地震等の災害はいつ起きるか誰にも分かりません。起こらないのが一番よいのですが、いつ起きても対応できるような心構えと準備が必要ではないでしょうか。

「備えあれば憂い無し」とは「前もって準備しておけば、何か起こったとしても心配ない」という意味です。この言葉のように「いつでも準備はできている」という積極的な姿勢で日々過ごしていけたらいいのではないかと思います。しかしながら、何事もない平穏な毎日であることに越したことはありません。

3学期は授業日数が50日(6年生は47日)と少なく、その短い期間で一年間の総まとめと次年度の準備をしなければなりません。特に6年生は、小学校生活最後の3ヶ月、集大成として卒業に向けて充実した毎日を送ってほしいです。そして、自信と希望をもって中学に進学できるよう一日一日を大切に、仲間とよい思い出をつくってください。在校生の皆さんは、進級に向けて、学習や生活態度を見直し、しっかりとした土台をつくってほしいと思います。「まとめ」の大切な時期を保護者の皆さんと共に歩み、子供たちを支えていきたいと思ひます。よろしくお祈りいたします。

一筆に心を込めて校内書初大会

1月8日(水)、第3学期始業式の後、校内書初大会を行いました。今年の題材は1年生「えがお」、2年生「あさ日」、3年生「つよい心」、4年生「雪の立山」、5年生「水清き里」、6年生「夢の実現」です。1・2年生は硬筆墨、3～6年生はだるま筆を使います。

静寂の中、真剣に取り組む子供たちの様子を見て回りました。1・2年生は硬筆墨の使い方になかなか慣れず、苦勞したと思いますが、どの子も上手に書いていました。また、3～6年生は、だるま筆に墨をたっぷり付け、勢いのある素晴らしい字を書いていました。冬休み中、ご家庭でもご指導いただいた成果だと思えます。ありがとうございました。

校内審査が行われ、金賞とそこから県大会出場者が決まりました。2月11日(火)に大会が開催されます。練習を重ね、本番ではもてる力が十分に発揮できたらいいですね。



お正月の「なぜ?」「あるある!」



お正月には日本らしい文化があります。

初詣、しめ飾り、鏡もち、お雑煮、おせち料理、お年玉、年賀状、初夢、書初、鏡開き、左義長、天神様などです。

なぜこのような文化があるのでしょうか。「なぜ初詣に行くの?」「どうしてお正月の料理をおせちって言うの?」「なぜ、初夢は2日に見る夢なの?」とお子さんから聞かれたら、どのように答えますか。そんなときは、「お母さん(お父さん)は、答えに自信がないから一緒に調べよう」とこんなひと言を言ってみてはいかがでしょうか。正月をネタにぜひ家庭学習として、一緒に『調べ学習』に取り組んでみてください。

3学期の始業式ではへびにまつわる話をしました。

「今年は何年か知っていますか。そうへび年、巳年です。蛇は自分がより大きく成長するために、古い皮を脱ぎ捨てるのです。これを脱皮といいます。皆さんも「自分は今のままでいいのか」と考えるときがあるでしょう。それは皆さんが成長しようと思っているからです。そういうときは、全力で何かに挑戦して見ましょう。きっと、新しい自分になれると思います。ひと皮むけた皆さんの姿を見られることを楽しみにしています」

子供たちは新しい年にきっと大きく飛躍してくれると信じています。子供たちが自主・自立して様々なことにチャレンジする姿を支えていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

(校長 阿尾昌樹)